

十勝バドミントン協会高校部・高体連からの確認事項

高校部長 宮井 大介（帯広南商業高校）

1 大会について

(1) 組み合わせ会議

- ① 毎大会前に帯広南商業高校会議室で 17:30～組合せ・顧問会議（教員のみ）を行っています。組合せ原案の提示・抽選作業です。2 部は組合せを機械的にパソコンで行っています。1 部については男女並行して実施することで、20 時台には終わることができるようになりました。
- ② 「プログラム印刷・綴じ」を郡部校で、記録を市内校でまわしています。本部用、報道用、各学校一部復命用の 40 部程度の印刷になりました。大会初日に持参下さい。また、パソコンの記録入力は単純ですので本部割り当ての先生方もご協力お願いします。また、新人戦では 3 年生で進路決定した部員にお手伝いをお願いしています。

(2) 大会当日

- ① 本部で「試合のコール」「シャトル交換」「試合結果の記入」などを顧問の先生でローテーションしています。試合の進め方については宮井、阿部先生（柏葉）、相澤先生（大谷）、池田先生（緑陽）など高体連でも専門委員をしている先生や、競技に通じた方に確認しながら進めてください。
- ② 高体連集約大会と新人戦団体については、教員が審判にかかわることから、謝礼の代わりに弁当を出しています。主審についてはこの後も十分に研修を積んでください。その他の大会については、代表決定（5～8 位）にかかわる試合と決勝戦のみ教員をお願いしています。
- ③ 会場設営については櫻井先生（音更）、久保先生（足寄）が中心です。設置の仕方わからないことがあれば確認してください。また、体育館からマイクやネットを借りる時に挨拶を怠らないでください。会場責任者は公共施設の場合、女子は宮井、男子は大会ごとに組み合わせ会議で決定します。

(3) 事前事後

- ① 競技に必要な物品は男女で 8 面分ずつ用意しています。男子分は帯広柏葉で、女子分は南商で保管しています。高校部の運営に必要なお金は、新年度は部長、総務、庶務で分担して持ち、年度末に庶務が一括決算します。
- ② パソコンの周辺機器（プリンター含む）及び紙・インクなどについては、毎組み合わせ会議時に確認することとします。プログラム印刷用の紙（A4 白）は、春の組み合わせ会議時に柏葉と南商で男女分購入します。
- ③ 大会の収支にかかわるところは財務（帯広北高校）にやっています。シャトル残りの処理、昼食の準備、業者への支払い、挨拶にいらした会長副会長への謝礼、審判手当等、相談してください。
- ④ 開・閉会式の挨拶の依頼は、年間の最初（春季大会）、最後（新人戦）のみ部長がお願いしています。
- ⑤ 新聞報道の方が見えたらプログラムを 1 部渡し、合わせて大会結果をどうするか（直接渡す、メール送る、新聞社に届けるなど）尋ねてください。新聞社への結果連絡は吉澤先生（工業）が大会後にメール転送しますが、市内の記録当番の学校、他の先生など、少しずつできる方を増やしていきたいと思います。
- ⑥ 試合会場への申請・お金の支払いをする人は総務ですが、近いところにお勤め、お住まいの方が代行をお願いしかまいません。帯広市施設のように 1 週間前までにお金を払わないとならない場合と、芽室のように当日で良い場合があります。
- ⑦ 全道大会申し込みについては、高体連・新人戦大会が宮井、その他は庶務にお願いします。顧問の先生は、選手の登録番号や生年月日を管理してください。
- ⑧ 年度途中で登録者がいましたら、庶務（三澤先生／帯広農業）に相談し、登録料の支払いは関根先生（柏葉）にお願いします。なお、新人戦や高体連の団体戦で人数が 4 名以下の場合は宮井までお話しください。

2 高校部としての取り組み

(1) 反省会の実施

例年 2 月中旬～下旬の学年末考査前に、高校部の反省会を「顧問会議」として実施しています。

(2) 研修会の実施

①今年度は当初、澤田先生（第五中教頭）にお願いしましたが、諸事情により実現できませんでした。初心者・中級者への普及・強化練習として、年 2 回実施することができました。阿部先生、会場の提供、声かけ等ありがとうございました。

②新年度は、2020 年 3 月から帯広市新総体が使用可能ということで、3 月 20 日（金）午前中に「研修会」という名目で使用要望を出しています。体育館の使い方や、ラインテープ張り、巻き取りの研修などを目的に実施する予定ですので、各校顧問の先生方、選手を引率してお集まりください。予定がはっきりしましたらお知らせします。

③指導者研修会・講習会を開催する予定です。これについては、年度途中にご案内をいたします。

(3) 他大会の手伝い

主審や線審等で大会の手伝いを頼まれた場合、必ず櫻井先生（音更）を通してください。

①小学生秋季鈴蘭大会 11 月 → 未定

②シニア関係（普及）→ 帯広南商業

③小学生団体（9 月）→ 9 月 29 日（日）芽室 担当未定

④その他、小学生オープン大会や夏季大会などは、要請があつて可能であれば手伝っています。

3 役割分担（別紙ご覧ください）

顧問の先生が変わられることもあると思います。この資料も含め、引き継ぎをお願いいたします。

4 新年度大会予定（別紙ご覧ください）

高体連 道専門委員より

高体連全道大会

平成 31 年 6 月 11 日（火）～14 日（金） 函館市

南北とも函館アリーナで実施 11 日公式練習は今のところ 12:20～13:10（7～12 コート）

全道大会新基準について

団体については新年度以降も 3 枠継続予定です。個人戦については今年度見直しとなっていますが、男女とも 4 複 4 単の全道出場枠で継続する見通しです。

数はともあれ、新人戦の団体参加校数は男女とも 12 校でした。高体連に向けて、一つでも多くの参加があるように努力してほしいと思います。

支部秋季総会の資料より

高体連集約大会の当番校ローテーション

H31 柏葉（帯広市総体） H32 音更（芽室町） H33 緑陽（帯広市総体） H34 白樺（芽室町）

32・34 年度の当番校について、学校内で確認をしてください。

帯広市以外の体育館は当番校が直接申し込むことになっています（特に芽室が多いので注意して下さい）。

当番校の場合は春季総会の資料をよくお読みになり、専門委員と報告・連絡・相談を密にとってください。道専門委員（宮井）・支部専門委員（阿部・池田・相澤）です。

専門部運営負担金について

新年度につきましても、全国インターハイの安定開催などに向けて、団体戦に出場する学校から、1 チームにつき 1000 円納入してもらうこととなります。要項どおりに進めてくださるようお願いいたします。

また、「監督・コーチ・マネージャー・選手は、北海道バドミントン協会に会員登録を済ませた者とする（あるいは済ませること）」の一文が全道大会の要項に加わり、参加申し込み書にも監督・コーチ・マネージャーの会員登録番号を記載する欄が設けられますので、支部予選から同様をお願いします。

主審業務について

昨年度旭川大会で実施された、個人戦の一部生徒による主審ですが、実績として踏襲するわけではありませんので、当該地区の一般の方や、出場校・敗者校の教員主審が主となると思います。

〇〇3 年度には帯広柏葉が当番校となり、十勝で全道大会を行うことが決定していますので、主審・線審業務を遂行できるよう計画的に普及する必要があります。

元号が変わることにより、2019 年度の表記へ

道大会の要項がそうなりますので、春季大会については西暦使用でどうでしょうか。

コーチングシートの服装

七分丈やアロハシャツはダメのような通達があったと思いますが、日バの研修会では「チームユニフォーム」と言われているようです。高体連の大会がどのようになるかの基準になると思います。

サービスに関するルールの改訂について

2 月に FAX したものをご覧ください。